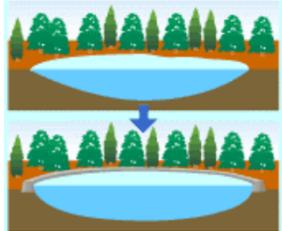
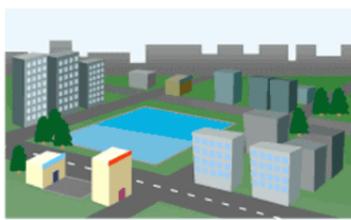
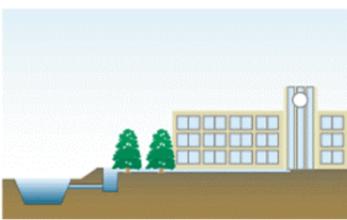


流域対策における課題 <基本方針レベルでの対策協議のために> 項目整理

- ・前提とする条件：1/100年確率程度の大洪水への対策
- ・課題整理の基準：現状の各施設等に新たに流出抑制機能を持たせることによって追加的に発生する課題のみに絞る。

表-1 武庫川で流域対策を実施する場合の課題等

課題等	対策案	ため池（嵩上げ等）	防災調整池	学 校（校庭貯留）	公 園	水 田（畦畔嵩上げ）	
概要		<p>ため池に治水機能を持たせるため、掘削や堤防嵩上により、貯留機能を増加させる。</p> 	<p>大洪水時の降雨を効果的に貯留するよう既存調整池を改造するほか、廃止可能となった暫定調整池を保全する。</p> 	<p>降雨を学校の校庭（グラウンド）に一時的に貯留する。</p> 	<p>降雨を公園のグラウンドや広場等に一時的に貯留する。</p> 	<p>畦畔を嵩上げし、水田に雨水を一時貯留する。</p> 	
課題	試算 治水効果 （または、治水への効果（一定面積当たり））	各流域対策施設の治水効果（流域全体で低減される流量または一定面積当たりの流量）					
	技術的な観点	各流域対策施設の実施における技術的な課題					
	環境への影響（環境コスト）	各流域対策施設を設置することによる、自然環境への影響（環境コスト）					
	社会的影響	各流域対策施設を設置することによる、社会的影響					
	関係者	工事の実施主体（県・市等）	各流域対策施設の施工主体				
		関係者	実施するに当たって調整すべき利害関係者				
		利害関係者との交渉の有無	上記利害関係者との交渉の有無				
		関係者に期待したいこと	各関係者から実施にあたって期待できる事項				
想定される事象		利害関係者から実施にあたって要求されると想定される事項					
	維持管理	各流域対策施設を設置した場合の維持管理内容及び方法					
方策	方策案としての検討事項	各流域対策施設において、上記課題に対応する方策案（課題を解決する方策案のこと。これから検討すべき事項である）					
評価	流域内の候補地の有無	流域内における各流域対策施設の有無及び規模					
	教育的効果（教育や啓発上の効果）	各流域対策施設を設置することによる、教育や啓発上の効果					
	経済性 （または、直接の工事費用（一定面積当たり））	工事費用（一定面積当たりまたは一箇所当たり）					